

大学名等	福島県立医科大学大学院看護学研究科
教育プログラム・コース名	がん看護実践インテンシブプログラム（インテンシブ）（テーマ②） （A）先進医療対応がん看護実践コース （B）がん経験者支援実践コース （C）緩和ケア看護実践コース
対象職種・分野	看護師、保健師、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、心理士など
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	（A）がん医療・看護に関する動向と課題、およびがん予防医学を含む最新のがん医療を理解し、患者のライフステージ（小児期、AYA世代、壮年期、老年期）と社会のニーズに対応できる人材 （B）がん体験者とその家族の心身の課題を理解し、がん経験者とその家族に柔軟に対応できる人材 （C）地域で生活するがん患者の多様なニーズを捉え全人的苦痛の緩和ケアを実践できる人材、緩和ケアの推進・発展に貢献できる人材
修了要件・履修方法	・本教育プログラムで定める科目について、オンラインおよび対面で合計60時間（4単位）以上を履修し、試験に合格すること。
履修科目等	（A）（B）（C）のうち1コースを選択し、前期・後期の指定科目を受講する ＜必修科目＞ 前期：がん看護論（A）、がん看護特論Ⅰ（B）、緩和ケア論（C） 後期：がん看護特論Ⅱ（A）、がん医療コミュニケーション（B）、症状マネジメント（C）（各2単位） ＜選択科目＞ 特別講座（各コースの課題に沿って指定）、臨床腫瘍学特論Ⅰ～Ⅴも選択可能
がんに関する専門資格との連携	科目履修生は、大学院進学後、がん看護専門看護師コースの必要単位の一部として認める。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	・がん看護学領域の教員を中心に、精神看護学、小児看護学、地域看護学、老年看護学らの看護系教員のほか、医科学専攻教員、認定遺伝カウンセラーが連携した講義を通し、在宅看護、高齢者のがん看護、小児・AYA世代や遺伝など、がん看護におけるあらゆる課題に対応できる力を身に着ける ・地域で活動するがん看護専門看護師、家族支援実践者、遺族の語りを通してがん経験者の身体的・精神的・社会的ケアに実践について理解を深める ・がん医療・看護に関する動向と課題、およびがん予防医学を含む最新のがん医療に関する情報を各専門家の講義で提供し、患者支援や地域社会におけるがん教育で活用できる知識と実践力を身に着ける。
指導体制	福島県立医科大学大学院看護学研究科がん看護学領域の教員を中心に、精神看護学、小児看護学、地域看護学、老年看護学の教員および、腫瘍内科、緩和医療科、消化器外科、消化器内科、放射線治療科、乳腺内分泌科、血液内科などの各々の領域の専門医、認定遺伝カウンセラー、専門看護師が協働し講義・演習を行う。実習指導は、本学附属病院をはじめ、福島、宮城、青森のがん看護専門看護師と本学医科学専攻の医師と連携し、医療機関・訪問看護ステーションにおけるがん看護実践・緩和ケアを提供できるがん看護専門看護師を養成する指導体制としている。
修了者の進路・キャリアパス	・がん患者の多様なニーズに対応できる看護職者の養成を通じてがん看護実践の質の向上に寄与 ・地域におけるがん教育に貢献 ・習得した知識を活かしチーム医療の質の向上に寄与 ・がん看護専門看護師コース進学の検討（看護師）